

1. 科目名 (単位数)	韓国の文化と言語II (2 単位)	3. 科目番号	GECM1316
2. 授業担当教員	橋本 琢		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	春期のテキストを継続して使用するため、「韓国の文化と言語I」を受講していることが望ましい。		
7. 講義概要	韓国の文化と言語Iでは言語を中心に講義を行なったが、IIでは言語と文化両方を学習する。言語については基本的な挨拶から日常会話をはじめ、漢数詞、固有数詞などを応用し、会話を深める。文化については一般的な理論講義と共にビデオや現地見学(コリアタウン、高麗神社)などを併行して講義を行ない、より深い韓国文化の理解を高めることも目的とする。したがって、本授業は基本的なハングル文字を理解し、韓国の文化に興味を持っている学生が授業の対象として望ましい。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの文字と単語を覚える 2. 基本的な日常会話ができるように学習する 3. 現代の韓国社会の政治・経済・社会・文化などについて理解する。 4. 韓国の伝統文化・名節について理解する。 5. 韓国の歴史や世界遺産などについて理解する。 6. 韓国の文化を直接的に体験し、より深い文化を理解する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人レポート：授業で紹介された韓国の文化の一つを選び、日本との相違点や類似点について日本語でまとめる 2. 学習してきた韓国語の基礎的な文法事項を使い、日本文化に関する簡単な説明文を、日本語と韓国語で作成する 3. 「韓国の文化と言語I」で作成した韓国語の自己紹介に加え、状況設定に応じた韓国語での会話のロールプレイを作成し発表する 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 李志暎『新装版 できる韓国語 初級I』アスク出版、2010。</p> <p>【参考書】 小倉紀蔵『韓国は一個の哲学である <理>と<気>の社会システム』講談社学術文庫、2011。 金慶珠『歪みの国・韓国』祥伝社新書、2013。 金成玟『K-POP 新感覚のメディア』岩波新書、2018。</p> <p style="text-align: right;">文末に「。」</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介と簡単な会話ができるのか 2. 韓国の文化について理解し、日本と比べ類似点や相違点について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への参加度(発表など)：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：20% 3. 総括テスト：40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。発音などの練習のときは大きな声を出す。 2) 韓国語の学習と並行して韓国文化についての紹介、解説を各講義時に適宜してゆく。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をする。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしない(正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守する。 6) 韓国文化に関するグループ討議や会話のロールプレイには、メンバー全員が積極的に参加し、また他人の発表はきちんと傾聴する。 7) 「総括テスト」として学習内容の定着度を判断する試験を実施する。 		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明及び、第三課、それはなんですか。①	事前学習	第三課(pp.50~52)の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。
第2回	第三課、それはなんですか。②	事前学習	第三課(pp.50~55)の例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」を復習する。
第3回	第四課、約束があります。①	事前学習	第四課(pp.56~58)の例文を音読しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。

			習」を復習する。
第4回	第四課、約束があります。②	事前学習	第四課(pp.56～61)の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する。
第5回	第五課、会社はどこにありますか。①	事前学習	第五課(pp.62～64)の例文を音読しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。
第6回	第五課、会社はどこにありますか。②	事前学習	第五課(pp.62～66)の例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましよう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましよう」を復習する。
第7回	第1課から第5課までの復習	事前学習	pp.67のReviewを音読し、解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、単語を覚える。
第8回	第六課、週末は何をしますか。①	事前学習	第六課(p.68～70)の例文を音読しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。
第9回	第六課、週末は何をしますか。②	事前学習	第六課(pp.68～73)の例文を音読し、「応用練習」「話してみましよう」「書いてみましよう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」「話してみましよう」「書いてみましよう」を復習する。
第10回	第七課、そんなに遠くありません。①	事前学習	第七課(pp.74～76)の例文を音読しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。
第11回	第七課、そんなに遠くありません。②	事前学習	第七課(pp.74～79)の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する。
第12回	第八課、いつきますか。①	事前学習	第八課(pp.80～83)の例文を音読しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する。
第13回	第八課、いつきますか。②	事前学習	第八課(pp.80～85)の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」に解答を記入しておく。
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する。
第14回	韓国語による日本文化の紹介	事前学習	自分が韓国人に紹介したい日本文化をひとつ決め、その紹介文を1000字程度の日本語で

			作成しておく。
		事後学習	韓国語で作成した日本文化の紹介文を覚える。
第15回	全体のまとめ	事前学習	今後、韓国とどのような関わり合いを持ちたいか考えておく。
		事後学習	他の履修者の意見も参考にして、今後の韓国との関わり合いについて考えを深める。